

テーマ「連合会の現状と課題」

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会

東京都立学校退職教頭・副校長会 大河内 保雪

1 はじめに

コロナ感染症が終息しない中で、東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会（以下「連合会」と略す）は、東京都の教育への支援や会員の多様な活動により社会貢献活動を行っています。

そのような状況の中で、教員の65歳定年制が実施される予定となり、60歳以後の東京都公立学校副校長の身分や活動状況は、複雑となってまいりました。そこで、今年度は、退職教頭・副校長の生きがいや不安、連合会事業や親睦の課題や問題点について、アンケートを実施しました。

2 研究方法

2022年8月から9月にかけて会員へのアンケートを実施

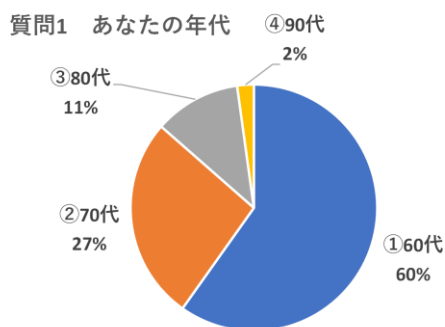
回答数 229名

（内訳：小学校部会 85名、中学校部会 106名、都立学校部会 41名）

3 アンケート結果

質問1 「あなたの年代は、・・・」

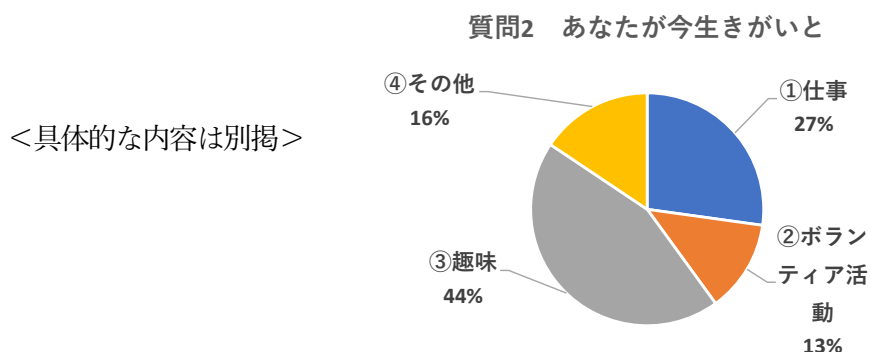
	①60代	②70代	③80代	④90代	計
回答数	137	61	26	5	229
%	59.8	26.6	11.4	2.2	100



□年齢構成比は、部会別によって、かなり異なる。（資料1-1参照）

質問2 「あなたが、今、生きがいとされていることは、・・・(1つだけ)」

	①仕事	②ボランティア活動	③趣味	④その他	計
回答数	68	32	111	39	250
%	27.2	12.8	44.4	15.6	100

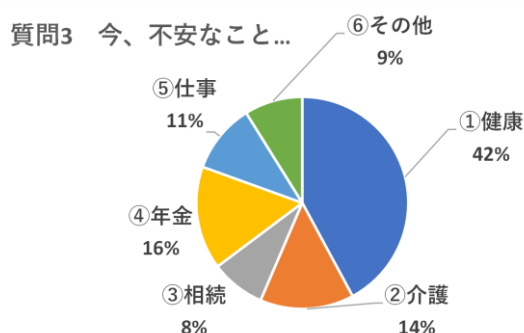


- 趣味：44.4%、仕事：27.2%、ボランティア活動：12.8%…
「趣味」が圧倒的に多い。次いで多かったのが「仕事」であるが、部会別で傾向が違う。(資料1-1を参照) 年齢構成と関連するからであろう。

質問3 「あなたが、今、不安なことは、・・・(2つまで)」

	①健康	②介護	③相続	④年金	⑤仕事	⑥その他	計
回答数	147	50	29	55	37	31	349
%	42.1	14.3	8.3	15.8	10.6	8.9	100

その他	小学校	・戦争の脅威・物価高・災害(地震など)・国政
	中学校	・特になし(6名)・体力の低下・家族の健康・66才以後の仕事・人間関係・将来の収入、生活費・老後
	都立学校	・老後資金・国政、国際情勢・仕事の調整

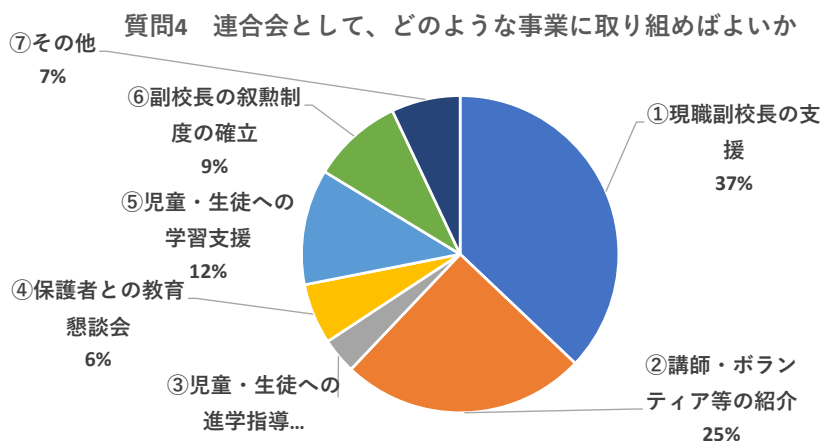


- 健康が42.1%で、多くの会員が健康に不安を抱いている。連合会への要望の中に健康相談が多かったこともあり、関心の高さがうかがえる。

質問4 「連合会として、どのような事業に取り組めば良いと考えますか。(2つまで)」

	①現職副校長の支援	②講師・ボランティア等の紹介	③児童・生徒への進学指導	④保護者との教育懇談会	⑤児童・生徒への学習支援	⑥副校長の叙勲制度の確立	⑦ その他	計
回答数	132	89	13	22	42	33	25	356
%	37.1	25	3.7	6.2	11.8	9.3	7	100

その他	小学校	・学校間の情報交換・副校長の叙勲制度への要請行動・様々な分野での研修会開催・生きがいのある生活の確立に向けて・教弘会の部屋を月1回くらい開放していただき、コミュニケーションの場を作る・啓発活動・東京都に教育行政への意見や要請をする。
	中学校	・家族との生活・家庭菜園・健康に気を付けて生き抜く・中山道、ハイキングツアーに参加等目標のある生活を送る・自分の子供と野球観戦・社会参加・介護、読書、息子の成長・余暇を楽しむ・迷泌をかけないような毎日の生活・余暇を楽しむ・社会参加(人権擁護委員活動)・なぜか不安で生き甲斐が分からなくなりました。・研究、執筆活動・修士論文を書くための研究活動・日常をつつがなく暮らしていけること
	都立学校	・都立高発展のため・講演会・福利厚生・部活外部指導員の確保・現役教員の研修時間の確保・会員向け研修会の実施=会員のスキルアップを図る。・処遇改善・生徒の問題意識の啓発・



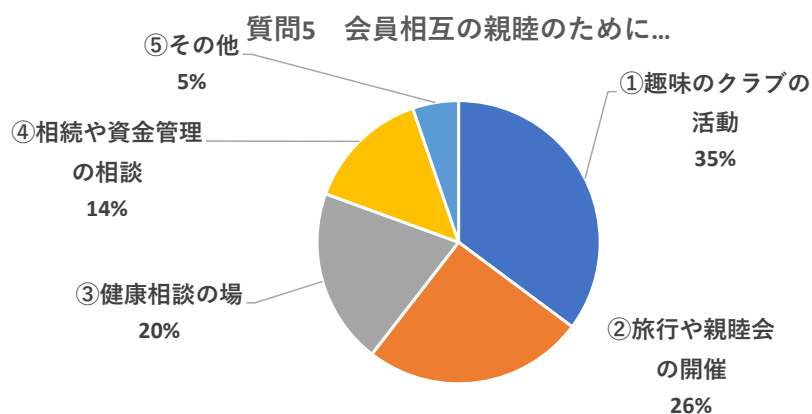
□ 様々な意見に分かれた。現職副校長の支援 31.7%、講師・ボランティア等の紹介 25.0%、児童・生徒への学習支援 11.8%が上位3つの意見である。

現在教育が抱える問題を会員が理解し、その解決のための方策を期待しているか。

質問5 「連合会として、会員相互の親睦のために、どのようなことを企画すると良い
 と思いますか。(2つまで)」

	①趣味のクラブの活動	②旅行や親睦会の開催	③健康相談の場	④相続や資金管理の相談	⑤その他	計
回答数	114	82	65	46	17	324
%	35.2	25.3	20.1	14.2	5.2	100

その他	小学校	・学校との関わり、ボランティア内容、仕事内容等の情報交換 ・HPの活用
	中学校	・副校長の待遇改善・子供の居場所づくり・時間講師のハラスメント・一人でも多く校長昇進を願う・現職者への支援、研修・退職副校長の親睦・横の連携・新たなキャリアに進むためにどうすればよいか。・教育現場の支援(報道等ではなく)
	都立学校	・サロン活動・現職への応援・LINE等で会員間の意見交換の場を



□ 趣味のクラブの活動35.2%、旅行や親睦会の開催25.3%で、合わせると6割強であった。健康や年金などの相談活動を要望する意見も多いが、日常的な、趣味や特技を生かした「楽しみ」の場を提供してほしいという意見が最も多いといえる。

質問6 連合会への要望や意見

小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・定年延長による会への影響の有無・インターネットを通じて会員相互の交流を行う。・連合会のことを知らない人が多いので、広く知らせていく工夫を要望します。・現役副校長（例 再任用、フルタイム）が担任教諭の欠員（産育休、病休）による補充に入ることが多い。この状況を改善してほしい。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場を支えるための具体的な動きができる組織になると有難い・平和のために連合会でも話し合えばいい・都教委や文科省へのテーマごとの提案活動(例オンライン授業、パソコン授業と教科書使用の是非)・副校長で終わるとその先は降格しかないのでしょうか。副校長以外の再任や別のキャリアに行ける道はないのでしょうか。・教育現場の生の声がかきたい(報道等ではなく)・連合会の活動に感謝いたします
都立学校	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する教育相談活動・退職後の人生を充実させるための支援という観点・現職副校長の希望要望を聞き都教委に要請 ・会員のクラブ活動を合同でやる・情報交換をより密にし、親睦を図る・教育現場の雑務解消のための具体策検討・教員免許更新制度廃止や部活動外部指導員への移行にともなって、副校長がさらに多忙となることがないように・行政と連絡懇談の機会をもつ・対都教委への働きかけ、情報の発信・小中高の情報共有・会員の不安や悩みを解決する方策を考え、取り組む（会員の生きがい実践例を公表、文書にまとめる。）・研修やイベントなど連合会が会員に直接働きかけ実行する。・会員の増加

質問2の各回答の具体的な内容…小学校

	①仕事	②ボランティア活動	③趣味	④その他
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成指導 ・再任用副校長 ・特別支援教室 ・非常勤教員 ・非常勤講師 ・学校管理職補佐 ・教育センター ・心理士 ・幼稚園送迎バス ・産休代替 ・小学校主任教諭 ・小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字奉仕団員 ・町会、地域会活動 ・小学校支援員 ・読書ボランティア ・学習支援 ・団体活動参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ（テニス、水泳、ウォーキング、フィットネスなど） ・旅行・読書・鑑賞（映画、音楽、美術、バレエ、ミュージカル） ・教養（楽器演奏、茶道料理、クイズ、合唱、書道、手芸、俳句など） ・野外活動（散歩、野鳥の写真撮影、自然や鉄道の撮影、天文、自然観察、ガーデニング） 	<ul style="list-style-type: none"> ・晴耕雨読 ・自由な時間 ・回想、回顧録、エッセイ ・家族との時間、孫の成長 ・地域の活動参加 ・介護 ・郷土史資料集作成

質問2の各回答の具体的な内容…中学校、都立学校

	①仕事	②ボランティア活動	③趣味	④その他
中学校	都、区関係 適応指導教室・特別支援・学校時間講・学力向上推進（英語など）・教育センター・教育委員会（相談活動など） 学校関係 副校長補佐・スクールサポート・部活の支援・時間講師・令和6年開校の小中一貫教育カリキュラム検討・65歳まで副校長の仕事続ける地域・保護司自営業・植木の剪定・農作業	学童クラブ・老人クラブ活動・学校や地域の支援活動・出前活動・町会役員・趣味を生かした地域・学校支援（ゴルフ、農作物の手入れ、鉄道、写真、読書、クラシックギター）	旅行・読書 ・スポーツ（ゴルフ、野球、ランニング、水泳、山歩き、釣、スキー、アウトドア） ・天体望遠鏡・ラジコン飛行機操縦・囲碁・麻雀・パズル・パソコン・工作 語学（英語、中国語、韓国語、国語） ・教養（観劇、絵画） ・園芸・朗読・俳句 ・アートフラワー ・音楽関係（クラシック、コンサート、ピアノ、フルート、コーラス、作曲）	・子どもの成長など ・家庭菜園 ・健康維持 ・目標ある生活 ・社会参加 ・介護 ・余暇活用 ・迷惑をかけない ・なぜか不安で生き甲斐が分からない ・研究、執筆活動 ・日常を平穏に送る。
都立学校	部活の支援・時間講師・教職員とのかかわり・小学校児童の支援	・学校の支援（部活動など）・町会・自治会・環境保全	・旅行・ドライブ・読書・スポーツ（ゴルフ、テニス、登山、スキー）・囲碁・音楽・箏曲・グルメ	・老人クラブ役員

4 考察

1) 回答者の年齢構成について

部会により違いが大きく、小中学校部会では60歳代が多くなっている(84%)が、都立学校部会では、70歳代が36.6%となっている。(資料1参照)部会による年齢構成の違いが大きい。

2) 会員の生きがいについて

退職後の生きがいとしては、趣味が44.4%となっている。また、仕事の割合が27.7%と比較的大きな割合となっているのは、回答者の年齢が、60歳代が半数以上であるためであろう。

3) 会員の不安なことについて

健康への不安が、42.1%、年金が15.8%であり、日々の生活への不安を持っている。4割強の会員が健康への不安の訴え、年金など生活費への不安もある。

4) 連合会の取り組むべき事業について

現職副校長への支援が、37.1%であり、学校現場を心配する声が多い。また、講師やボランティア等の紹介が25%であり、働く意欲や社会とのかかわりを持ちたいと思っている。児童生徒への学習支援が11.8%となっている。このように、全体として副校長や児童生徒等への支援への斡旋を期待している。

5) 会員相互の親睦について

会員の趣味やクラブでの親睦が、35.2%であり、旅行や親睦会の開催も25.3%となっている。今後のコロナ感染症の動向をみながら、会員がコミュニケーションを深められる活動を行う必要がある。また、健康相談や相続などの講演会も求められている。

6) 連合会への要望や意見について

本会の認知度が低いという意見があり、本会の活動内容が知られていないようである。現職副校長との交流や活動を通じで、本会の活動の周知に努めると共に、ホームページの充実や活動内容の広報活動が必要であろう。

5 今後の課題

1) 65歳定年制実施に伴う会員数の問題について

65歳まで再任用や非常勤講師などの仕事に就く教員が多く、都立学校部会では、60歳以後の教員の動向が個人情報保護などにより、連絡が取りにくい状況にある。このことが、会員数の減少に拍車をかけている。新会員確保に向けた取り組みは、今後の課題として重要である。

2) 現職副校長への支援や交流について

質問4「連合会として、どのような事業に取り組めば良いと考えますか。」の回答では、実に37.1%の方が、現職副校長の支援と考えている。その背景を考えると、「コロナ感染症への対策により、この3年間で副校長の職務が増大し、多忙を極めている。副校長補佐の配置などが進んでいるが、副校長の多忙化解消には至っていない。」がある。さらに、教員希望者の減少が続いていることもある。不足教員を非常勤講師で補っている状況で本来教員のやるべき仕事までもが副校長が対応している現状がある。連合会としては、東京都教育委員会への令和4年度要請文にこのことを盛り込む予定である。さらに、学校・授業見学等を通して、現副校長との交流の場を作ってゆくことも取り組んでゆく。

3) 会員間の相互交流・情報共有について

質問4, 5の回答内容から、会員間の相互交流を望む声は多く、「オンラインによる会合の実施」、「クラブ活動を通して親睦を深める」、「講演会の開催」など様々な意見が寄せられた。

コロナ禍の中、インターネットを利用したメールやオンライン会議での情報交換が進んでいる。実際に、9月には、連合会役員間で、zoomによる会議（情報交換会）を開くことができた。しかし、まだまだ、不慣れな会員もいるために、幅広く普及してゆくために一層の工夫が必要である。

対面での交流（親睦のための旅行、クラブ活動）は、多くの会員が望んでいることであり、コロナ感染症の状況に配慮しながら、実施に向け検討すべきであろう。

4) 時代に対応した本会の活動について

新学習指導要領の実施による探求型授業の実施、部活動の地域への移行、都立高校入試での英語スピーキングテストの実施など、東京都の教育課題に対応した取り組みが期待されている。